

令和7年度第1回幸区地域福祉計画推進会議 会議録

会議の概要

開催日時		令和7年8月15日（金）午後2時から午後3時10分まで	
開催場所		幸区役所3階 相談室	
出席者の氏名	委員 （出席）	関川浩司（幸区医師会） 加藤満治（幸区社会福祉協議会） 立花和宏（幸区民生委員児童委員協議会） 川喜田智子（幸区民生委員児童委員協議会） 滝澤富士子（幸区町内会連合会）	三浦ひろみ（川崎市育成会手をむすぶ親の会幸支部） 松本健一（川崎市幸区身体障害者協会） 大塚謙一郎（幸区地域教育会議） 岩川舞（さいわいソーシャルデザインセンター）
	委員 （欠席）	高橋正（日吉商店街連合会）	
	オブザーバー	大竹薫（幸区社会福祉協議会事務局長）	
	事務局	荒木（地域みまもり支援センター所長） 村山（地域ケア推進課長） 葉山（地域ケア推進課企画調整係職員）	上久保（地域みまもり支援センター副所長） 小田（地域ケア推進課企画調整係長） 神保（地域ケア推進課企画調整係職員）
議 事 （公開）		1 議題 （1） 第7期幸区地域福祉計画令和6年度の実施結果及び評価について （2） 地ケアの新たな推進に向けて （3） その他	
傍聴人の数		0名	
配付資料		資料1 第7期幸区地域福祉計画（抜粋） 資料2 第7期幸区地域福祉計画 令和6年度の実施結果 資料3 第7期各区地域福祉計画（令和6～8年度）における評価に係る考え方について 資料4 第7期地域福祉計画評価案（令和6年度） 資料5 地域包括ケアシステムの更なる推進に向けて 資料6 ヒアリング結果のまとめ、企業向けアンケート案	

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局	開会 議事録作成のための録音、記録としての写真撮影について了承、資料の確認。 荒木地域みまもり支援センター所長より挨拶。 今年度初めての会議であることから、自己紹介。
議題（１）第７期幸区地域福祉計画令和６年度の取組結果及び評価について	
事務局	【資料１～４に基づき説明】 第７期幸区地域福祉計画の概要（計画の体系図、そのうちの重点項目、それらに基づいた幸区での令和６年度中の取り組み結果及びそれらに対する評価）を説明。あわせて事前に頂戴したご意見やご質問に対しての説明を実施。新たなご意見やご質問をちょうだいしたい。
松本委員	安否確認について。新聞をとっている人はだいぶ少なくなっていると思う。例えば郵便物がたまっているとかそういうのは、郵便局へ依頼することも考えられるが、いかがか。
事務局	新聞配達業者だけでなく、生協とか様々な民間事業者と提携し異変があれば連絡をもらっている。また、先日新聞配達員からたまたま近くを通ったら異臭がしたと報告があった。結果、何もなかったが、配達しているお宅以外でも気づいたことがあれば連絡をもらえる体制となっている。
大塚委員	避難所関係。2019年の台風の時に多摩川が決壊するおそれがあるとのことで避難所に避難したことがある。避難所に遅れて向かった人は中に入れない状況もあった。あの時から天災は悪くなる一方であるが、災害への対策としては、訓練を実施してソフト的な面で強化しているのか、それとも施設などのハード面でも強化しているのか。ハード面も特に拡充していった欲しいと考えている。鹿島田付近に住んでおり、タワーマンションは多くあるが、学校がないため心配である。避難所は足りていると住民に言える状況か。
事務局	幸区在住の市民の人口からして全員避難することは困難。災害の種類にもよるが、台風や水害であれば垂直避難。地震でも安全が確保できれば在宅避難。駅前等で協定を結んでいる一時避難所もあったように記憶している。川崎市に限らず都市部は全員が避難することはできないが、そういった課題については担当する危機管理担当へ伝えておきたい。
三浦委員	災害について。個別避難計画を作成したが、情報がなかなかアップデートされない。個別避難計画の内容は市が対応しているのか、それとも区なのか。市で行われる１年に一度の講演会が開かれる時には市の情報はアップデートされるが、個別の情報は知ることができない。今回の報告を見ても、障がい者の避難の状況など会議で話し合われたことが確認できないため、どのような状況になっているのか教えて欲しい。
事務局	避難所内では避難者は体調や配慮の要不要で区分け（ＡＢＣ）をし、避難してもらうことになっているし、８月３１日の市総合防災訓練においても同様に想定して訓練を実施する予定。一般的には、一次避難所での滞在が難しくなった方は二次避難所に搬送することを検討するルールになっている。そして、災害時には全市的にE-welfissというシステムをインターネット上で使用して、行政と二次避難所が繋がっての開設状況や受

	入状況の確認を取ったり、連絡のやり取りができるようになっている。 避難行動に支援が必要な障害者などの災害時要援護者のために個別避難計画を立てている。実際の災害時はそれに沿って避難活動を行っていただくことが一番有効かと考える。E-welfiss は行政と施設間で運用しているものなので馴染みのあるものではないと思う。 例えば電気やガスが止まっているエリアでは二次避難所として受け入れすることは難しいが、仮に南部を震源地とした震災があった時には北部の施設を選択肢として、何床くらいどういう人を受け入れることができるか全市的にネットワークを組んで対応することが可能な体制となっている。
滝澤委員	自身の町内会は平屋が多い。近くのマンションや病院などそういった所に一時的に垂直避難をお願いする場合、直接訪問する時に後ろ盾というか、区役所が間に入ってもらえるとスムーズにいくと思うが。
事務局	その点についても危機管理担当と情報共有させていただく。
関川委員	発災時には積極的にクリニックでの診療を行うと手を挙げている。病院が壊滅状況にあり、避難者の収容が必要となった場合には、受け入れを考えているが、資機材に限界があるため、無尽蔵に受け入れることはできない。浸水害のことは今まで検討したことがなかったが特に、夜間は営業時間外であることや、必要物資は人数分しか備蓄されていないことなどを考えなければならない。また、医療機関であるが、寝るスペースも有限。災害時の場所の提供についての課題を解決するために行政の力添えをしてもらっていただけたいと考えている。スペース自体はある。
事務局	危機管理担当と情報共有させていただく。
立花委員	ある老人クラブのことだが、現在（会員が）約 20 名。年会費として計 4 万円（の補助金をもらっている）。そこから連合会に約 2 万円を、賀詞交換会では 1 万円を、計 3 万円を支払っている。老人クラブの登録をやめると補助金は出ないようになるのか。もらったらもらったで会計処理が細かく、苦慮する側面もある。それならやめてしまった方が楽という考えもあるかと思っていたが。
事務局	老人クラブ連合会としての老人クラブの活動に対しての補助である。ただ、そういったご意見があることは担当及び関連部署に共有させていただきたい。
滝澤委員	民生委員のこと。3 名の民生委員がすべて改選となり、新しく探すことに苦労した。何度でも町内会を回って声掛けしても無理ですと言われる。なぜ断られるのか考えた時に、現在の民生委員と、新しくどうかと思う候補の方と会議のようなことを行って、普段どのような活動を行っているか話していただいたことがある。昔からある色々な人を見なければならぬというイメージが強くあり、そのせいで「民生」という言葉に対して困ったなあという反応をされる。今は新聞会社などの見守りネットワーク事業もあることで、負担感を感じさせないことも必要。また、最近は定年退職が 70 歳の時代。64 歳の方に声を掛けても仕事をしていることから断れることもあった。60 歳代の人を対象に声掛けすることは難しい。年齢条件についての緩和も検討する必要がある。
事務局	一斉改選の年であるため、ご苦労されていることは承知している。負担軽減のことやその他のことも市全体で決定していることでもあるため、本庁部局にも引き続き伝えてより良い方法がないか考えていきたいと思っている。また、地域福祉計画は現在各区にお

	いて策定しているが、次期計画については市全体で縦断的に作成することが検討されている。また、それに伴って当会議のあり方についても検討していくことになる可能性がある。詳しいことがわかったら、推進会議の場でお伝えできればと思う。
議題（２）地ケアの新たな推進に向けて【資料５～６】	
事務局	【資料５～６に基づき説明】 地域ケア推進課の新たな取り組みを実施するにあたり、改めて取り組み内容を簡単に説明。取組内容に関することや、今後地域の方や地域の企業等に訪問する際のアンケート案について皆さまの立場から色々なアドバイスや意見をちょうだいしたい。
岩川委員	なかなか大変な作業になると思うが、すごく意味のあることだと思うので頑張っていたきたいと思う。皆さんのご意見を聞いていて、病院のような資材を置くことができる存在と、リソースを持っているという人の声を一つ一つ拾い上げ集めること、別々のリソースをマッチングすることはとても大変だと考える。できる（リソースがある）という人や状態は多くあるがその声を集めることが出来ないからいつまでももったいない状態が続いていると感じている。民生委員の話もあったが、町内会役員にも興味があるがずっとフルタイムで働いているので、参加することが出来ない。仕組み作りの問題だと思っている。若い人は民生委員と聞くとすごいことをやっているイメージで、多分野だし、そもそも何をやっているかを知らないことが多いので、若い人にわかりやすく役割を伝える方法っていうことが大切だと考える。例えば、民生委員でいうと訪問するだけの人がいたり、資料をまとめる人がいたり、一人で全部やろうとすると大変なので役割分担というか、リソースの分かち合いができないものかと考えた。それが可能であれば、役割の一部であればできるという人が出てくるのではないかと思っている。地元の町内会の夏祭りでは、私は役員ではないがフランクフルトを焼くという役割を担っている。事前の会議や仕入れは他に担う人がいて、そういう仕組み作りが出来ているのでそういった支え合いで成り立っていると思う。 また、認知症の講習会の件だが、認知症については若いうちから理解を深めておきたいと思っている。講習会の開催について担当課に相談をしたが、お茶代を実費で払ってもらって参加してもらうことも許可されることがなく、とにかく無料でなければならぬと言われた。カフェを営業しているのでカフェの緩やかな場で認知症を学びながら、ロバくんの裁縫を実施しようと思っていたが、お茶代を実費で払ってもらって参加してもらうこともできない、民間でもできる方法を妥協してできるようにして欲しいと思った。カフェにはまちづくりや認知症に興味がある人ばかりが来るので、せっかくの良いスタートラインが作れるのに、もったいないと思った最近の出来事。若い人は、なぜ民生委員って年齢を重ねてからでなければならないのかとか、講習もなぜできないのかなどまちのために、「知る」ことを緩やかにできると、色々と若者の参画しやすい社会福祉・高齢福祉になるといいなと思って、新しい取り組みについては興味があるのでこれからもよろしくお願ひしたいと思っている。
事務局	民生委員のことについては、新小倉にできたマンションではどうしても若年層が多いため何人かの若いお父さんがデジタル技術を使いながら、連絡を取り合っている良い事例で、他にも広がっていけばいいなと思っている。
立花委員	民生委員は一日中何かとつきっきりと言うわけでない。簡単に言うと月１度定例会に出席する必要はあるがそれ以外は拘束がないため、働きながらできるし、１／３くらいの

	民生委員は仕事をしながら活動している。つきっきりで何かするわけでないし、そんなに強い拘束力があるものでもない。名前が先行してイメージを与えている部分は大きいかも。
事務局	民生委員の紹介パンフレットの内容についてはもっとわかりやすくあった方がいいと考えるので、地域で活動しやすくなるように、今後の課題としたい。今後の取組の話であるが、基本的に高齢化が進む北部の市営住宅での話だが、買い物に出ること困難な方が多いということで移動スーパーを実施しているところもある。幸区でもエリアによってはそういったところもあるかと思っており、今すぐどうってことはないが、新しい取り組みの一部として考えている。しかし、ニーズを把握しなければ呼んでも…。皆さまの中で高齢者に限らず障がいをお持ちの方や子どもが小さくなかなか買い物に出ることが困難とかそういう声があれば、私たちに言っていただきたい。ニーズが集まって固まれば具体的に動くことになっていく。移動スーパーだけに限らず普段の困りごとなど、皆様の生の声を聴きながら進めていきたいと思っているのでよろしくお願いいたします。
関川委員	アンケート案の内容はいいと思う。地域包括ケアを意識して色々なイベントを院内で企画して行っている。知ってもらい・共有してもらうことで逆に協力してもらえることもあるかと考える。不定期にギャラリー開催しているが、知り合いの作家から始まって、累計20数回実施してきた。どのような方にお願ひしようかと考えた時に、例えば趣味で何かやっている人が展示する場所が無くて困っていたとすると、施設を使っただけとお互い winnwin の関係になる。お互い苦労しない、そういう良い取り組みだと思って聞いていた。医療はパブリックスペースという認識で気軽に来てもらって気軽に相談してもらいたいと思っている。病院の3階で実施しているが、患者でなくても誰でも自由に参加してもらえるようになっている。新しい取り組みの趣旨にかなっていると思っているので是非施設に見学に来て、参考にさせていただきたいと思っている。
大塚委員	今は高齢者を中心とした話だったが、子供にも目を向けたいなど思っており、現在は不登校対策が大きな問題になっている。フリースクールを設置するなど対応は進んでいるが、学校に行けない子供は色々な要素がある。原因解決には例えばフリースクールに色々な要素や特色を持たせて、チョコザップのようなもので対応していかなければならないので、企業とうまくマッチングしてそのような場所が生まれればいいと思う。 こども食堂についてどれくらいの数があるかは把握していないが、かなりの数があると思う。過去には貧困対策という暗い・古いイメージがあったが、今はそんなことも無いと思うので月1とか週1とか多くのペースでなくても今後のマッチングの中で検討して活用できるようにしていただければと思う。
議題（3）その他について	
事務局	特になし。
事務局	以上で全ての議題が終了した。 他にも何かありましたら随時ご意見等いただければと思います。これをもって、第1回推進会議を終了とする。

以上